

Nougyou Nounou いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしくお願ひします。



県営かん排「皿貝川沿岸地区」完工式を開催

第18号の目次：

「皿貝川沿岸地区」完工式を開催	1
前谷地小学校における取り組み	2
鹿又地区、広瀬沼地区の状況	3
地域農業懇談会を開催～大曲地区～	3
H21年度からの受託調査	4
NN部写真コンテストを開催	4
H20年度石巻圏域農地集積状況	4

2月5日、県営かんがい排水事業「皿貝川沿岸地区」の完工式典が、石巻市河北総合センターにて開催されました。式典には、北上川沿岸土地改良区の関係者のほか、関係機関の職員が参加し、総勢約70名で盛大に行われました。

式典は、まず北上川沿岸土地改良区理事長の式辞があった後、宮城県東部地方振興事務所長から本事業の経過報告が行われました。その後、宮城県副知事、東北農政局整備部長、石巻市長からそれぞれ祝辞が述べられ、最後に万歳三唱が行われ、終了しました。

本事業は、用排水施設の改修により、効率的な水管理を図ることにより、農業生産性の向上を図るために行われたもので、昭和55年に始まり、完工までに29年もの歳月を要しました。



▲完工式の様子



▲完工記念碑

なお、式典に先立ち、牧野巣揚水機場前で完工記念碑の除幕式が行われました。出席者が白い布を外すと、「恵水豊壤」（豊かな水に恵まれ、五穀が豊かに実る）との大きな文字が刻まれた碑が現れ、会場からは大きな拍手が送られました。

担当：水利施設保全班

【事業概要】

総事業費	8,633,580千円	受益面積	A=695ha
受益戸数	1,084戸	工期	昭和55年度～平成20年度
主要工事内容	牧野巣揚水機場：φ600mm 2台、φ400mm 1台 牧野巣排水機場：φ1,200mm 1台、φ800mm 1台 釜谷崎排水機場：φ1,000mm 1台、φ800mm 1台 用水路工：L=12.9km 排水路工：L=8.9km		

前谷地小学校における取組み ～田んぼの楽校協働推進体制整備支援事業～

石巻市立前谷地小学校（旧河南町）では、5年生の総合学習の時間を利用して4月から田んぼの学校を行っており、関係機関が協力してその支援を行っています。今回は、10月以降の活動を紹介します。



▲稲刈りの様子



▲手づくり看板の前で記念写真

1. 稲刈り作業

10月22日、稲刈り作業を行いました。まず、農業改良普及センターの担当者から「お米の収穫」について授業が行われ、その後、近隣の学習田に移動し、地元農家の方から鎌の使い方や結び方について説明を受けた後、各人が鎌を使って稲刈りを開始しました。

子ども達の多くは稲刈り体験が初めてでしたが、戸惑うことなく稲刈りをし、刈り取った稲をヒモで束ねていました。刈り取った品種は、ひとめぼれ、ササニシキ、古代米の3種類でした。

その後、束ねた稲は棒掛けしました。子供たちからは「鎌で刈る感触が気持ちよかった」、「お米を食べるのが楽しみ」などと感想が述べられました。



▲脱穀作業の様子

2. 脱穀作業

11月13日、乾燥させた稲の脱穀作業を行いました。道具は、小学校の倉庫に保管されている「千歯こき」、「足踏み脱穀機」を使用しました。子どもたちは昔の道具に興味津々で、楽しそうに作業を行っていました。

終了後には、地元農家の只野氏からワラの結び方のレクチャーがあり、子どもたちは、ワラを腰や頭に巻いて遊んでいました。

子どもたちからは、「脱穀の大変さが分かった」、「千歯こきの扱いが難しかった」などと感想が述べられました。

3. 納豆作り

2月3日には、納豆作りが行われ、保護者の方々も数名参加しました。

作業は、10月に学習田で棒掛けして乾燥させたワラの両端を縛り、藁苞（わらづと）を作った後、それを熱湯に浸して殺菌してから、煮た大豆を詰めました。指導している農家の方からは、ワラには納豆菌が付いているので、それを2～3日暖かい場所で保管すれば納豆ができ上がるとの説明がありました。

子どもたちからは、「貴重な体験ができてよかった」、「ワラに納豆菌が付いているなんて驚いた」などと感想が述べられました。



▲納豆づくりの様子

4. わらじ作り

2月5日には、地元農家の方のご指導の下、わらじ作りが行われました。こちらでも棒掛けで乾燥させたワラを用い、わらじを編みました。

子どもたちは、指導を受け一生懸命作業していましたが、なかなか上手にわらじを編むことができず苦戦していました。

一方で、わらじを編む職人芸を間近で見、「魔法みたいだ」、「昔の人はすごい」などと驚きの声を上げていました。



▲わらじ作りの様子

担当：計画調整班

鹿又地区、広淵沼地区の進捗状況

1. 推進同意の取得

平成22年度のほ場整備事業の採択を目指している石巻市（旧河南町）の鹿又地区（A=600ha）、広淵沼地区（A=700ha）においては、それぞれ基盤整備事業推進委員会、土地利用調整委員会を設置し、事業化に向けて話し合いを重ねているところです。

今般、各地区とも11箇所において集落説明会を開催し、地域主体で同意を集めた結果、推進同意を**ほぼ100%取得**することができました。

2. 地区範囲の決定

鹿又地区、広淵沼地区のほ場整備事業を行う地区範囲が最終的に決定しました。具体的な範囲は下記図面のとおりです。

3. 環境配慮検討委員会の設置

3月11日、環境配慮計画策定のに向けた地元の推進組織として、学識経験者や地域の環境に詳しい方々などを構成員とする「環境配慮検討委員会」を両地区において設置しました。

会議は、本年3月～4月の間に3回程度開催される予定で、配慮が必要な生き物の種類、配慮の方法・場所、維持管理の方法等の検討を行います。



▲鹿又地区土地利用調整委員会



▲広淵沼地区基盤整備事業推進委員会

担当：計画調整班



▲鹿又地区計画平面図



▲広淵沼地区計画平面図

地域農業懇談会を開催～大曲地区～

3月5日、大曲地域の今後を考える地域農業懇談会が開催され、大曲地区集落営農実践委員会の役員のほか、JAいしのまきの関係者（女性部、青年部等）、関係機関の職員を含め約30名が出席しました。

本懇談会は、来年度ほ場整備事業「大曲地区」が採択されることを踏まえ、ほ場整備後の水田の有効有効活用の方向性や地域づくりについて意見交換を行うため開催したものです。

会議では、「イベント等に積極的に参加して、野菜販売を行いたい」、「同じ農業をやるのなら、生き活きとやりたい」などとの意見が出されました。今後も継続的に地域での話し合いを行っていく予定です。

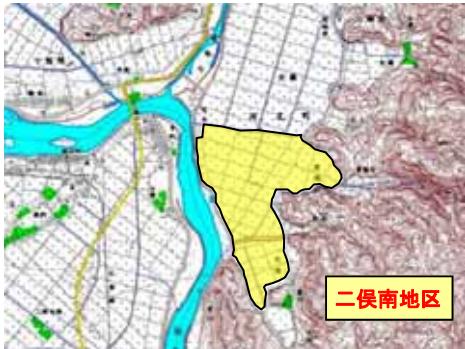
担当：農村振興班



▲懇談会の様子

H21年度からの県による受託調査は妥当との判断～二俣南地区～

【位置図】



石巻市（旧河北町）の二俣南地区においては、ほ場整備事業の採択に向けて地元の推進組織が中心となって活動をしており、昨年6月に調査同意約100%を取得しました。昨年11月に行われた県の計画検討委員会における審議の結果、二俣南地区は、H21年度からの県の受託調査地区として「妥当」との検討結果が示されました。

同地区では、「二俣南地域農村活性化委員会」を昨年10月に設置し、地域の活性化に向けての取組みが活発であることから、今後とも引き続き積極的に活動を支援していきたいと考えています。

担当：計画調整班

■平成21年度調査事業開始地区

地区名	面積	耕作者数	位置
二俣南地区	127ha	121人	石巻市（旧河北町）

NN部写真コンテストを開催

広報広聴活動の一環として、東部地方振興事務所NN部において、職員による写真コンテストを開催しました。コンテストは昨年から行っており、今回は2回目です。

作品募集したところ、35作品の出展がありました。部長を委員長とする審査委員会での協議の結果、この中から受賞13作品が決定されました（部長賞3作品、優秀賞5作品、佳作5作品）。

職員が農業農村の魅力を確認する機会としても貴重であることから、来年度以降も継続していきたいと考えています。

担当：計画調整班



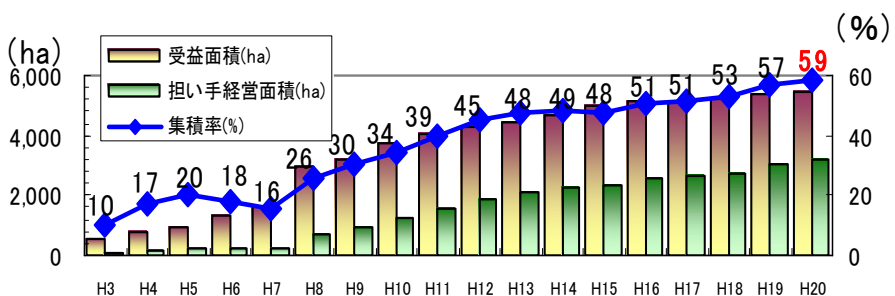
▲暖かい春の1コマ（部長賞）

H20年度石巻圏域の農地集積状況

本年度も、石巻圏域の農地集積を促進するため、市をはじめ改良区・JA等を交えた「農地集積戦略会議」を3回にわたり開催しました。その結果、本年度の石巻管内農地集積率は、前年度の57%から59%と2%上昇し、目標を達成しました。また、石巻管内では13地区が目標を達成するとともに、重点地区のうち北上地区においては、前年の28.1%から本年度は45.7%に上昇するなどの成果が見られました。

担当：農村振興班

◇年度別集積率の推移



※21C事業地区を除いた場合の平成20年度の集積率は57.1%です。



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 478

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-kt@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/nn/nn-top.htm>

編集・発行 (創刊平成15年2月)
宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部
計画調整班 広報広聴担当